

2023年6月26日(月)

藤崎剛自由民主党県会議員質問：

五代友厚の教科書記載の変更についてお尋ねします。

われわれは高校時代に教科書で習った官有物払い下げ事件、これは明治政府により北海道開拓がすすめられました。政府が投資した工場などの土地を当時の北海道開拓庁長官の黒田清隆が同じ薩閩の出である商人五代友厚に安値で払い下げたとされるものであります。

五代友厚は1835年に鹿児島城下の城ヶ谷、現在の長田町で生まれ、薩英戦争のときにはスイカ売り決死隊に参加、薩摩藩英国留学生に選ばれ、串木野羽島から渡航し、見聞を広め、帰国後は大阪商工会議所を創設するなど大阪経済の父として知られています。2020年三浦春馬が主演した「天外者」で映画化され、再評価の機運が高まっているところです。

しかし五代友厚の歴史的評価は芳しくなく、その原因はこの教科書記載によるものが大きいとされています。

鹿児島に関係する人物の教科書記載については、平成18年、当時の伊藤知事が西郷隆盛の教科書記載について、それまで西郷隆盛が朝鮮半島に攻め入ることを論じたとされる征韓論とされていた教科書記載について問題意識をもたれ、伝えた者すなわち使者を派遣する遣韓論ではなかったかということで教科書会社に記載変更の要請活動を行ったことを思い出します。その後複数の教科書会社が征韓論と遣韓論の並列表記に変わったことを思い出します。

従来の五代友厚の歴史教科書記載については八木孝昌氏の研究により事実誤認であることが証明されました。いずれも国立公文書館・国立国会図書館にて関連資料を探し、そうしたことで真実が明らかになりました。そして事実誤認であるならば、教科書記載の変更をすべきだと大阪市立大学の同窓会を中心に署名活動が行われたのであります。私も110名ほどの署名を集めてお送りしました。全国的な要望活動が実り、このたび山川出版社・実教出版・清水書院・第一学習社の高等学校教科書において教科書の記述が変わりました。

そこでお尋ねします。五代友厚について歴史教科書での記載が変更されたことへの塩田知事の所感をお聞かせください。

二つ目。記載が変更された教科書を鹿児島県内の高校で使っているのかどうかお示してください。もし使っているのであれば、記載内容が変更になったものの捕捉が必要かと思いますが、教育長の見解をお示してください。以上で一回目の質問といたします。

塩田康一知事答弁：

五代友厚の教科書の記載変更に関する所感についてでございます。五代友厚は幕末にはパリ万博への薩摩焼等の出展を実現させ、薩摩藩の対外的評価を高めることに貢献し、明治以降は大阪株式取引所や大阪商業講習所の設立に関わるなど、大阪経済の興隆に奔走した人物であり、郷土の誇りであると思っております。このたびの教科書記載の変更により、高校における歴史教育が客観的かつ公正な資料に基づいて適切に行われることで、多くの人々に郷土の偉人五代友厚が正しく理解され、その歴史的評価が高まることを期待したいと考えております。なお、この記載内容の変更は五代が設立に関わった大阪商業講習所の流れを汲む旧大阪市立大学の OB 等の活動の影響が大きいと伺っており、そのような活動をしてくださった大阪の方々に感謝申しあげたいと考えております。

じとうしょゆぐみ
地頭所恵教育長答弁：

次に五代友厚の教科書記載の変更についての質問のうち、高等学校における市場についてでございます。五代友厚に関する記載が変更された教科書は 4 社 11 点あり、令和 5 年度はそのうち、4 社 6 点の教科書を 35 の県立高校が採択しています（注）。学習指導要領においては、近現代史の指導に当たっては、客観的かつ公正な資料に基づいて事実の正確な理解に導くとともに、多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を期待することとされているところです。このたびの教科書記載の変更について授業で扱うことにより、生徒自身が歴史に関わる諸事象の背景や意味をさまざまな立場から考察することができ、五代友厚の業績や評価の正確な判断や理解につながるものと考えています。

（録音聴き取り： 八木孝昌）

注： 鹿児島県内の県立高校は 61 校を数える。そのうち、工業・商業・農業・水産等の実業高校は 12 校である。記載変更教科書採択の 35 校が普通高校であると仮定すると、全普通高校 49 校のうちの 35 校であるから、採択率は 71.4%である。